

別売り及び当社ホームページで公開している当社指定請求明細書(請求出来高算定書(兼請求書内訳書)、資材請求内訳書)を添付してください。なお、請求明細書作成に係る手間・時間の削減が見込まれる、電子商取引(CI-NET、eQ-BILL)の利用もご検討ください。

適格請求書発行事業者登録番号を記載してください。適格請求書発行事業者未登録の場合は「免税事業者」にチェックを入れてください。どちらにも記載がない場合は請求書を受付できません。

請求書(紙)の記載要領 ※水色の箇所を記載

JV工事の場合は、宛先にJV名を記載してください。JV名は現場担当者にお問い合わせください。

(株)安藤・間 _____ 御中

請求書 (貴社控)

請求書No. XXXXXX

(内訳) 別紙請求明細書 _____ 枚

請求年月日(西暦)	支払先コード	適格請求書発行事業者登録番号	注文番号
YYYY年MM月DD日	JXXXXXXXXXX	TXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXA	XXXX

注文番号がある場合は記載してください。

注文書の取引件名を記載してください。

取引件名 _____

免税事業者 (適格請求書発行事業者ではありません)

会社名 ○○○○ (株)

住所 東京都新宿区西新宿〇-〇-〇〇

電話番号 03-0000-0000

当該欄は、一つの取引につき、出来高払い等により請求が複数回にわたる場合のみ記入してください。

請求金額(税抜)には、請求明細書各項を税率ごとに集計した金額を記載してください。

課税区分	請求金額(税抜)	消費税額	請求金額(税込)
課税 10%	⑤	⑥+⑦	⑤+⑥+⑦
軽減 8%			
非課税・不課税			
計			

消費税額には、集計した請求金額(税抜)に消費税率を乗じた金額を記載してください(請求明細書各項毎に算出した消費税額の集計ではありません)。

	前回迄	今回迄
累計出来高金額(税抜)		①
調整額		②
累計請求金額(税抜)	④	③(①-②)
今回請求金額(税抜)		⑤(③-④)
今回請求消費税額		⑥(⑤×税率)
消費税額契約差額(最終請求時のみ記載)		⑦
累計消費税額	⑧	⑨(⑧+⑥+⑦)

出来高の端数調整に関しては、請求明細書各項では行わず、②「調整額」にて調整してください。なお、端数調整は任意です。

⑦は、最終請求時のみの記載欄です。一つの取引につき、出来高払い等により請求が複数回にわたる場合、消費税の端数処理によっては、累計請求消費税額と契約消費税額が一致しない場合があります。その場合は、⑦に、契約消費税額と一致するよう差額を記入してください。また、⑨の累計消費税額が契約消費税額と一致することを確認してください。

請求回数

--

	契約金額
原契約	
追加変更	
増減精算	
小計	
契約消費税額	
計	